

主力品目の生産条件の改善による付加価値化及び担い手確保による所得向上の実現

ちくごなんとうぶ やめし
【福岡県筑後南東部地域】（八女市）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 八女市はお茶、電照菊、いちご・冬春ナス・冬春トマト等の施設野菜、柑橘・キウイフルーツ等の果樹等の生産が盛ん
- 高齢化・人口減少により農業従事者及び担い手不足が課題
担い手（販売農家における経営者）の平均年齢64.5歳、65歳以上占める割合：51%
- 地区の主力品目である温州みかんについては、生産効率及び品質向上を図るため、生産条件の改善が必要
- 経営の安定化のため、法人化の推進が必要
- 高齢化等の進行により、集落が連携した鳥獣被害対策の強化等が必要

【地域の位置】

福岡県筑後南東部地域 八女市

（指定地域：過疎、振興山村、特定農山村）



八女市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

集落説明会及び各集落にて実施検討

- 中山間地域における生産条件の改善に向けて、各集落での検討会・各種施策に関する説明会を実施
〈取組概要〉
6月に、237集落を対象に、鳥獣被害防止対策等の中山間地域振興に関する事項について、説明会を5回実施

取組を具現化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

中山間地域園地整備による生産性向上

- 農地造成と併せ農道、排水路、かんがい施設を整備（22.7ha）
- 園地整備の結果、機械化による労働力の削減、生産性の向上、安定した用水源の確保が実現

【農山漁村地域整備交付金（中山間地域総合整備型）】



園地整備



糖度を上げるマルチドリップ栽培

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域集落活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の強化など、地域を下支える取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金、多面的機能支払交付金】

【中山間地域等直接支払交付金】

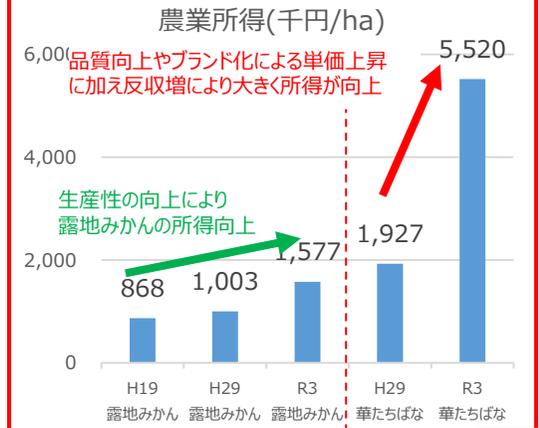
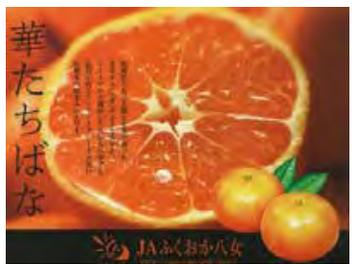


関係者による草刈り作業

事業の効果

ブランド化による農業所得向上

- マルチドリップ栽培により生産された高糖度みかんを「華たちばな」としてブランド化
- ブランド化による付加価値で市場の販売単価が上昇。地区の農業所得を押し上げることに成功。
- 鳥獣被害対策を効果的に組み合わせることで、出荷量及び販売額が増加し、農業者の所得向上が図られている。



※ J A 福岡八女資料及び八女市資料から算出

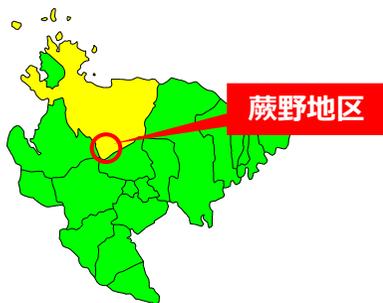
【地域の現状・課題】

- 蕨野（わらびの）地区の農業は、生活雑排水が流入しない環境と昼夜の寒暖差が大きいといった特徴を活かした水稻の生産が盛んである。
- 高齢化・人口減少により、担い手不足や耕作放棄地の増加などが深刻な課題である。
（地区の65歳以上が占める割合：55.2%（令和4年））
- 地域資源を活かした関係人口を増加させる取組を行い、棚田の魅力や保全活動の重要性を伝えていく必要がある。
- ブランド米である棚田米「蕨野」の更なる高付加価値化や販路の拡大による所得向上、地域の活性化を図ることが急務。
- 離農者が増える中、農地の耕作を支援するNPO活動だけでなく、荒廃から指定棚田を守る即戦力となる耕作者の確保が急務。

【地域の位置】

唐津・東松浦地域 唐津市相知町蕨野地区

〔指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等〕



蕨野地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

蕨野の棚田に行きたくなるような誘導看板を集客施設などに設置

【元気な地域創出モデル支援】

- 唐津市内の集客施設、観光地に、蕨野の棚田の四季折々の風景を掲載した看板を設置し、年間を通じた誘導を実施。
 - ・都市住民向けの大型直売所
 - ・地元の直売所 ・道の駅
 - ・観光地の駐車場
- 来訪者に興味をもってもらい、気軽に散策いただき蕨野の棚田をより身近なものに感じてもらうため棚田の直売所付近に散策マップを設置。写真撮影の参考になるよう農作業のスケジュールも表示。
- 日本一の高石積みの案内看板や、展望所の表示看板を設置し、撮影スポットを表示。



道の駅 敵木



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

地域の魅力を活かした関係人口の増加や棚田米「蕨野」の販売促進

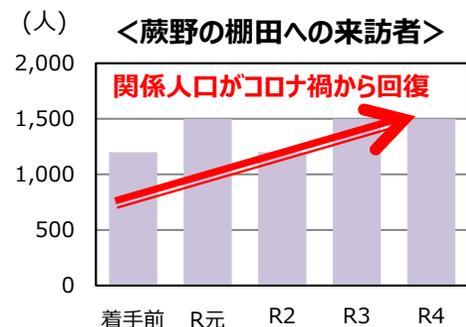
- 今回設置した看板や情報発信により、蕨野の棚田に興味を持つ人が多くなり、コロナ禍からの回復に伴い関係人口も増加してきている。
- コロナ禍によりイベントが開催できず棚田ファンを増やすことが難しい状況ではあるが、蕨野の棚田の情報発信やブランド米である棚田米「蕨野」の販売促進に努めている。



事業の効果

関係人口の増加と販売促進

- 蕨野の棚田をより身近に感じてもらうことで、イメージアップが図られ、来訪者の増加につながっている。情報発信やイベントの再開などにより、関係人口がコロナ禍前から回復してきている。



- 棚田米を利用した更なる加工品の開発と販売促進へ発展。



棚田米を使ったサイダー・せんべい

- 少量パックを作り、都市部でのイベントで販売するなど、棚田米「蕨野」の完売を目標に情報発信を行い販売促進へ。

直売所を核とした地元農産物の加工品開発や生産現場の情報発信強化などによる地域の活性化

【長崎県】

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					複合経営・ 半農半Xの実践
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興	

【地域の現状・課題】

- 長崎県は、ばれいしょ、いちご、アスパラガス、みかん等の栽培が盛ん。
- 高齢化等により集落機能、所得確保力の衰退が課題となっており、地域内の販売交流拠点である農産物直売所の機能強化による集落の維持・活性化が急務。
- 農産物直売所の数は出荷者の高齢化等により減少傾向にある。(H27: 156店舗、R3: 140店舗)
- 農産物直売所の販売力強化や交流人口の拡大により地域の所得向上、雇用の確保等による地域の活性化を図る必要がある。

【地域の位置】

【長崎県】対象地域：全域

[指定地域：特定農山村、過疎、半島、離島]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農産物直売所を対象とした研修会の開催、現地支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 直売所セミナーを開催して、優良事例紹介、視察研修、ワークショップ等を行い、販売力強化につなげている。併せて、専門家を直売所へ派遣し、直面する課題への助言や指導を実施。



直売所セミナー



現地指導

新規品目の導入・加工品の開発による販売力の向上

【元気な地域創出モデル支援】

- 直売所向けの新規品目導入(ミニ白菜)
- 地元の季節の果物を活用した新商品の開発
- 直売所やイベントの様子などをInstagramやYouTubeで発信



ミニ白菜



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

販売額向上・交流人口拡大による活性化

- 直売所向け新規品目の導入により、出荷者を新たに確保し、安定的な生産、出荷へ。
- 継続した情報発信による更なる交流人口の拡大。
- 支援を実施した取組をモデル事例として県内へ波及。



スイスチャード（学校給食への供給検討）



新商品の開発・定着による販売額UP



SNS活用の講習会

事業の効果

農産物直売所の人材育成・販売力強化・交流人口の拡大

- 県内の農産物直売所の売上は5年間で約1割増。

(億円) <農産物直売所の売上額(長崎県)>



- 研修会の開催や現地相談・支援による農産物直売所を支え、販売交流拠点へ発展させる人材の育成

	R3年度	R4年度
セミナー開催	3回	3回
参加店舗	42店舗	44店舗
参加人数	72名	87名

- 地元農産物を活用した加工品の開発による販売力強化。



旬の果実のフルーツサンド



旬のいちごのプリン

- SNSを活用した情報発信強化による交流人口の拡大

【地域の現状・課題】

- 佐野地区の農業は、水稻のほか、栗の生産が盛ん
- 農業従事者の高齢化・兼業化により、数十年前に整備された栗園の古木化・廃園化が課題（基幹的農業従事者の65歳以上が占める割合：63%（2015年農林業センサス））
- 基盤整備は行われたが小規模農家が多いため、個別投資はコストが高く困難
- 栗園の廃園改修・改植・新植を進め樹園地帯の設置と面積拡張による増収益を図ることが急務
- 流通ニーズに対応した栗の二次加工により付加価値を高めた六次産業化と地区内女性の活躍の場づくりが必要

【地域の位置】

【熊本県県北地域】(菊池市佐野地区)
[指定地域：特定農山村、指定棚田]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

栗の作業効率化・六次産業化による販売額の向上

【元気な地域創出モデル支援】

- 佐野地区の住民及び農業者等で設立した菊池佐野営農改善組合において、担い手への農地集積等を通じ、地域農業の振興と農業経営の改善を推進
- 栗の共同選果体制づくりのための選果体制フローや鬼皮・渋皮むき行程のマニュアル化により、佐野栗の高品質化とブランド化を推進
- 佐野栗を使った加工品として、皮むき生栗の冷凍品の開発や、栗ペースト、栗の甘露煮等を試作



栗の共同選果（水選果）作業



加工品の試作

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

産地一体となった生産・販売体制の構築

- マニュアルを活用した栗選果作業の実践により、地区外からの選果受託が決まり、安定した収益確保が見込まれる。
- 活動を通じ、栗剪定研修会への農家女性の参加や、地域高齢農家の選果作業参加など活躍の場が生まれた。



せん定講習会



地域高齢農家を雇用した栗選果

事業の効果

栗を柱とした儲かる農業の確立

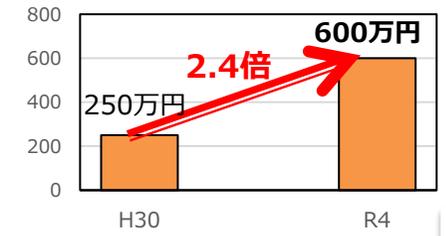
- 菊池栗プロジェクト連絡会議の設置・開催による関係機関の取組みが強化（構成：JA、物産館、農業者組織、コンサルタント、市県）
- 新規農家数・栽培面積が増加し、産地の若返りが進む。

＜栗栽培農家数と改植・新植面積の推移＞
(菊池地域)



- 栗生産を柱とした中山間営農組織の経営安定化と産地ブランド力向上が図られる見込み。

＜栗選果販売額の見込み＞



【地域の現状・課題】

- 平野部、中山間地域部でそれぞれの特色を活かした営農が展開されているが、農業者の高齢化が進行
- 一部地域では小区画、不整形、排水不良のほ場があり、集積・集約化及び経営規模拡大の障害となっている
- 水田の畑地化によるブランド作物の産地拡大を目指している（大豆、白ねぎ、ぶどう等）
- イノシシやシカ等の鳥獣被害額については、減少傾向にあるものの依然高水準となっており、被害対策が急務となっている

【地域の位置】

大分県 北部地域

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等]



北部地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

新規担い手確保の検討及び推進

【中山間地農業ルネッサンス推進事業】

- 新規担い手確保のため、農業団体等を対象とした説明会を開催するとともに、所得向上や担い手の定着に向けた活動や体制整備等への取組を実施。

基盤整備との連携

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
 （優先枠等）

農地整備や集積・集約化し、多様な担い手の確保・育成を推進

- 農業集落法人等の担い手への農地の集積・集約化と生産コストの削減に向けた基盤整備や、水田の畑地化・汎用化による園芸品目の産地拡大、多様な担い手の確保・育成を推進。
 【農山漁村地域整備交付金等】



パイプラインの整備



水田の汎用化

- ・排水不良を改善し、水田の畑地化・汎用化を推進
- ・水路（パイプライン等）の整備により維持管理を省力化し、生産コストを削減

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 （優先枠）

農地整備や集積・集約化し、多様な担い手の確保・育成を推進

- 侵入防止柵の管理、耕作道や周辺林地の草刈り等を共同で行い、鳥獣害防止対策の取組を強化する
- 水路や農道等の地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金、鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金等】

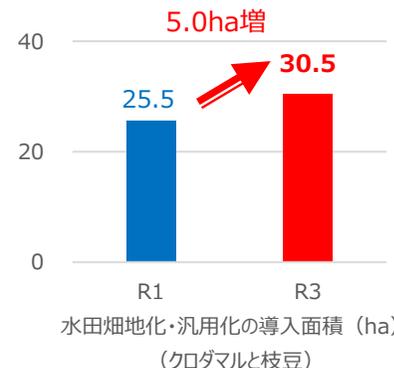


侵入防止柵の維持管理

事業の効果

水田の畑地化・汎用化による園芸品目の産地拡大

- 水田の畑地化・汎用化に高収益なクロダマル、枝豆の園芸品目の導入を推進し、産地を拡大した。



- 産地拡大を推進するクロダマル（大豆）と枝豆



中山間地域の人々の誇りと自信を醸成する「ひなたの棚田遺産」認定事業

【宮崎県】 にちなんし くしまし にしめらそん きしょうちょう もろつがそん しいばそん みさとちょう たかちほちよう ひのかげちよう ごかせちよう
 (日南市、串間市、西米良村、木城町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 棚田地域振興法の施行や新型コロナウイルス感染症による田園回帰志向の高まり。
- 宮崎県において、13市町村21地域が指定棚田地域に指定。
- 人口減少や高齢化により、保全活動の衰退や集落機能の低下が懸念。
- 集落機能強化と農村地域の魅力を活かした地域交流の活性化が必要。



【地域の位置】

【宮崎県】
 [指定地域：過疎、振興山村、特定農山村、指定棚田]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

ひなたの棚田遺産の認定と情報発信

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 県内を代表する17棚田の認定による中山間地域の人々の誇りと自信を醸成するため認定証の贈呈、棚田カードの作成等を実施。
- 認定した棚田を核とした情報発信。
 (ホームページの作成、ガイドブックの作成等)



ひなたの棚田遺産の募集

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

ひなたの棚田遺産の魅力発信による地域の活性化

- ひなたの棚田遺産に認定された17棚田のうち13棚田を農林水産省主催の「つなぐ棚田遺産」に推薦。
- ひなたの棚田遺産の保全団体との意見交換による優良事例の抽出と情報発信。



保全団体の意見交換

【中山間ふるさと・水と土保全推進事業】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

地域の共同活動による農地保管理の推進と持続的な営農活動の推進

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保管理の推進、持続的な営農活動の推進など、地域を下支えする取組を展開。
【多面的機能支払交付金】【中山間地域等直接支払交付金】【環境保全型農業直接支払交付金】等

事業の効果

宮崎の棚田の魅力発信

- つなぐ棚田遺産に13棚田が認定。
- オフィシャルサポーターに2企業が認定。



つなぐ棚田遺産の認定 宮崎県内のオフィシャルサポーター

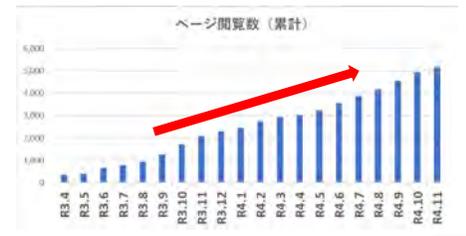
ひなたの棚田遺産に認定していたことで、つなぐ棚田遺産推薦に係る地元理解と情報が得られやすかった。また、オフィシャルサポーターに認定されたことにより、企業の意欲が向上した。

- ひなたの棚田遺産やつなぐ棚田遺産に認定による、誇りと自信の創出。



認定証や認定をきっかけに作成した棚田カードにより「住んでいると気づかないけれど、こんなに魅力のある所だったのだな」と喜びの声を頂いた。

- ひなたの棚田遺産の魅力発信による棚田への関心の高まり。



ホームページ開設からの閲覧数は5000を超え

村の特産品「ゆず」の未利用果実を活用した商品づくりと持続可能な産地の実現

ごゆ にしめらそん
【宮崎県児湯地域】（西米良村）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 平坦地が少なく、農業経営の規模拡大が困難。
また、高齢化等による担い手不足に対応するため、新規就農者の確保、法人等多様な担い手の育成、省力化・低コスト化の取組など、将来的に営農が継続できる体制の整備が必要
- 村の特産品である「ゆず」は、労働力の不足から出荷期間内の収穫ができない等産地体制の見直しが必要
- 製品を通じて産地をPRするために、核となる商品づくりが必要
- 鳥獣被害が深刻であり、侵入防止柵の設置や有害鳥獣捕獲対策の推進など集落ぐるみで被害防止対策が必要

【地域の位置】

宮崎県（指定地域：過疎、振興山村、特定農山村等）



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源を活用したビジネスプランの検討

- 集落が作成した、地域特産品の「ゆず」を活用するビジネスプラン達成のためのサポーターを県が雇用し、各集落に派遣
 <取組概要>：集落での話し合い活動に参加し、ビジネスプラン達成のための助言や関係機関との調整を実施>

取組を深化

集落のビジネスプランの実現に向けた支援

未収穫果実を利用した新たな加工品の開発

- 地元菓子店との連携して開発した一口ゆず羊羹やゆずポン酢等を作成し菓子店等で販売 【県単事業】

水土里情報システムを活用した園地の見える化、省力的な園地づくり

- 園地面積や植栽状況、経営継続意向等を記載した台帳を作成し水土里情報システムを活用して見える化し、話し合い活動に活用
- 部会全体で低樹高化に取組み、80%以上の園地が低樹高化ドローンでの防除試験やリモコン草刈り機の運用試験に取り組んだほか、園内道の設置研修等を実施 【県単事業】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域ぐるみでの産地維持の取組

- 担い手の負担軽減や農村機能の維持のため、中山間地域等直接支払交付金の活用や鳥獣被害対策を通じた地域ぐるみの共同活動などを実施
- 村や普及センター、JA等の関係機関が連携して、ゆず生産部会を支援 【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金等】

事業の効果

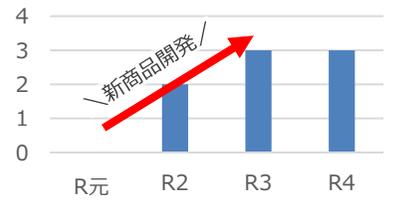
持続可能な産地づくりの推進

- 生産者の強みを生かした商品開発による販売の強化



加工品の開発

加工品開発数（累計）



- 省力・低コスト技術の導入により所得向上を実現



低樹高化による省力化

サトイモの付加価値向上による栽培面積の拡大

ほくさつ
【鹿児島県北薩地域】（さつま町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践
--------------------------	--------------	-----------------	-------------	----------------	-------------	------------------

【地域の現状・課題】

- 国が高収益作物の栽培を推進しているが、町の耕地面積の約7割が水田である。
- サトイモは町の重点品目に位置づけているものの、面積拡大が進んでいない。
- サトイモの生産拡大と廃棄親芋を解消するため、湛水栽培の普及と親芋の加工品の開発が必要。
- 親芋のほ場廃棄が野生鳥獣のえさ場となり、鳥獣被害が進行化しているため、対策が必要。

中山間地農業ルネッサンス推進事業

加工品の開発や販売促進

- 町内の製造設備での一次加工品の製造と品質の評価
- 一次加工品を用いた商品、メニュー開発と販売促進活動
- 原料イモの貯蔵法の実証試験の実施



栽培面積の拡大と野生鳥獣被害の軽減

- サトイモの栽培面積拡大を推進するため、疫病対策等に有効な湛水栽培や親芋の加工に関する『湛水栽培サトイモシンポジウム』を開催
- 野生鳥獣による被害の防止・軽減を図るため、ほ場廃棄の解消など被害防止対策の講演会を開催

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

収量の確保と新たな可能性の検討

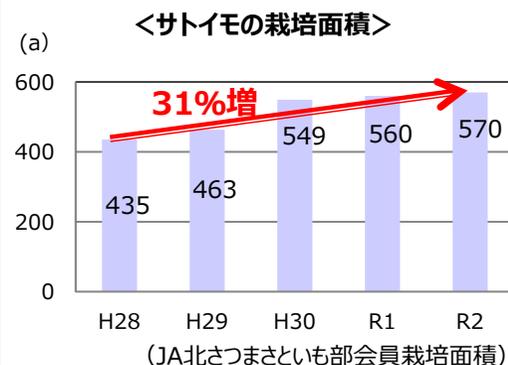
- 実践的な研修やきめ細かな営農指導により、取組農家を確保し、安定的な収量を確保。
- 酒造会社と契約し、さとも焼酎を開発。
- サトイモのほ場廃棄を削減し、野生鳥獣への餌付け防止。



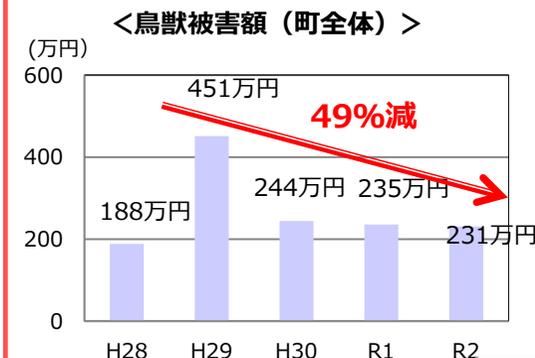
事業の効果

栽培面積の拡大と野生鳥獣被害の軽減

- サトイモ湛水栽培の普及により栽培面積が拡大。



- 親芋のほ場廃棄の削減により野生鳥獣による被害が減少。



【地域の位置】

【鹿児島県さつま町】

（指定地域：過疎、特定農山村）

